

水と緑とやすらぎの中に

活力ある都市をめざして

都留市長 都倉昭二



活と活動の本拠を持つ世の中を築こうと「ふるさと創生」を唱えております。

私の責務は、国、県と密接な連携を保ち、市民総参加、

あけましておめでとうございませう。お健やかに新春をお迎えのことと存じます。

市民の皆様のご支援と温かいご厚情を賜り、市長に就任し、はや二年を経過いたしました。おかげをもちまして大過なく努めさせていただきました。都留市も着実な発展をいたしております。

これもひとえに市民の皆様のご指導ご援助の賜ものと心から感謝申し上げる次第であります。

さて、国におきましては、竹下内閣が誕生し、税制改革、土地対策、教育改革を当面の最大の課題とし、こころの豊かさを重視しながら国民が生

活と活動の本拠を持つ世の中を築こうと「ふるさと創生」を唱えております。

私の責務は、国、県と密接な連携を保ち、市民総参加、

対話の市政を信条とし、人間的なもの精神的なものに目を向け、人と人とのふれあいを通して物心両面にわたるきめ細かな環境づくりに努め、来るべき二十一世紀を展望し、明るく健康でうるおいのある「ふるさと都留」の創出にあると痛感しております。

地方行政も引き続きその基調は厳しいものがありますがこのところ急激に環境が変化して参りました。

高齢化、高度情報化及び国際化の環境変化の三大要因もその内容、程度、方向等において大きな違いを見せてきております。

高齢化は福祉と負担、高度情報化はかえって東京一点集

中化の促進、国際化は田高に伴う地域産業や農業の衰退、国内産業の空洞化、失業の増加などを招いております。

これからの行政運営は、乏しい財源をいかに効率的に活用するかという観点のみならず、激しい変化にいかに対応するかという観点も強く求められてくるものと思っております。

このような状況下にあつて住民福祉の増進による一層豊かな地域社会の実現を図るためには、創意工夫と熱意の盛り上がりによって民間活力の活用を図り、水と緑に恵まれた市土の計画的な開発が重要な課題となつてきております。

そのため美しい自然を生かす、生活環境の整備、教育文化、福祉の充実、産業の振興など諸政策の推進を図つて参る所存であります。

なお、一層のご指導ご協力をお願い申し上げます。

医療の充実・病院建設

今、都留市の現状を見つめ、

将来の発展につながる重要な課題として、まず、市民待望の病院建設がございます。

歴代の市長さんからの懸案事業でもあります病院建設について、全身全霊をこめ、取り組んで参りましたが、市議会を初め、関係団体、市民の皆様のご協力をいただき、いよいよ本年には着工の運びとなる予定であります。

昨年の五月、市医療整備審議会において、基本的事項の建議がなされ併せて地元医師会からの同意が得られました。建議の内容は、当面内科、外科の二科目六十床で開設し、将来的には、昭和五十六年の基本答申（七科目百五十床）を具現するものとしておりま

す。

東部医療圏（大月保健所管内）においては、百六十五の病床が不足しております。

これらを考慮し、科目病床数の充実を基本答申にそつて整備していきたいと思つて、また、今後ますます進行する高齢化社会に対応するため、老人保健施設百床を併設する計画であります。

△ノーマライゼーション▽すなわち家族や地域に囲まれた日常生活の中での福祉へと進むことから、施設入所から在宅福祉への方向転換の対策として、退院後すぐに家庭に帰れない寝たきり老人等に対し、リハビリなどの医療サービスや日常生活サービスを提供し、家庭生活へ橋渡しする中間施

